

奈吾蘭、風蘭之類、形相似、葉長三四寸、亦不著土、能活、開黃花香佳、自薩摩出之、曰有深谷難採、琉球風蘭、葉長尺許、似蘭而柔、抽莖開小白花、微有風蘭之狀、蓋此觀音草之白花者也、

〔中山傳信錄^六物產〕名護蘭、葉短而厚、與桂葉同、大僅如指、三四月開花、與蘭無異、一箭八九朵、攢開、香

清越、勝蘭出名護嶽巖石間、不假水土、或寄樹極上、或以棕皮裹懸之、又有風蘭、葉比蘭較長、香如山

柰苗、香茂、竹爲盆、懸挂風前、極易蕃衍、俗皆尙蘭、號爲孔子花、

粟蘭一名芷蘭、葉如鳳尾、花如珍珠、又有松蘭、竹蘭、棒蘭、狀如珊瑚樹、綠色無葉、花從極間出、似蘭較小、

〔古今要覽稿^{草木}〕春鳳蘭 蕙蘭

春鳳蘭は漢名を蕙蘭一名九節蘭一名興蘭と云、その形狀鳳蘭に似て、葉に光あり、花は二三月の頃に開く、一幹七八花、其瓣甌蘭よりも瘦細にして、末尖り、其色淡黄にてかばいろの縦道あり、これを土窖中に入おく時は、初春に花を開く事甌蘭に同じ、さて顧野王の頃に蕙といへるは、全く秋蕙にして、秋花さく蘭をいひ、黃山谷以下に蕙といへるは、春秋に拘はらず、すべて蘭の數花を開くものをいふ、憶に渠の頃は、いまだ蘭の種類世に多からざるによりて、たゞ春蘭秋蕙を以て其別をなせしなり、後世に至りては、其種類おのづから多く出て、春月數花を開く蕙をも見出せしより、遂に蕙は春秋にかゝはらぬ名とはなりぬ、これは全く時勢の玄からしむる所にして、必しもあやまりを傳へしにはあらず、世に蕙を翫ぶもの、よろしく古今によりて、その違ひある事をおもふべし、○中略

小蘭 王小嬢

小蘭一名姬蘭は、漢名を王小嬢といふ、其葉極めて細小にして、長さ一尺餘、濶さ二分許、秋白莖抽て三五花をつく、形寒蘭に似て、白色にして黄を帯び、瓣ごとに五紅線ありて、心には同じ色の星點多し、凡此花は五瓣なりといへ共、上瓣は大にして三方に分離し、二瓣は小にして上より心をお